

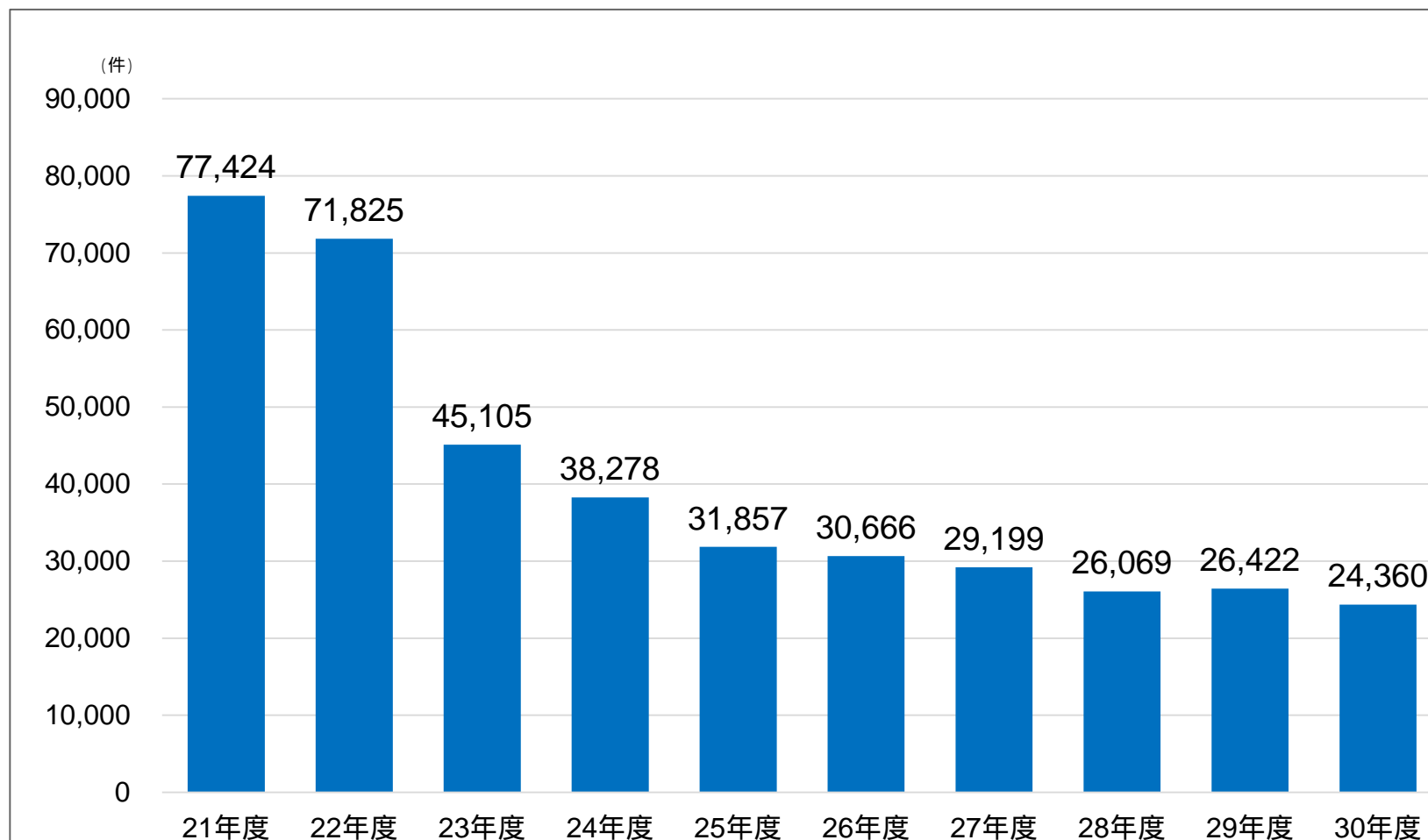
ご説明資料

～ 「フィンテックによる多様な金融サービスの提供」関連 ～

平成31年4月
消費者庁

「多重債務」に関する消費生活相談の概況(1)

1. 相談件数(受付年度別推移)



(注)PIO-NET(全国消費生活情報ネットワーク)を通じて全国の消費生活センターから寄せられた「多重債務」に関する相談件数(平成31年4月16日登録分まで)。

「多重債務」に関する消費生活相談の概況(2)

2. 相談事例

○個人事業主だが、事業用資金や生活費のために7社から借り入れ、700万円借金がある。支払いが困難だ。

○ギャンブルのために銀行や消費者金融等4社から借金し490万円の返済が困難。多重債務法律相談の予約がしたい。

○事業用資金、教育ローン等の借入が総額1040万円。最近、市営住宅の家賃について裁判所から文書が届いた。返済が困難。

○息子はギャンブル癖がありカードローン等で未払いがある。幾度か肩代わりもしてきたが裁判所から通知がきた。どうしたらよいか。

○事業用資金の連帯保証人として多額の借金をかかえている。債務整理をしたいが費用を工面できないため、保留中。

ギャンブルが原因でサラ金や銀行カードローンで借金したが返済が困難になった。債務整理したい。

○6年以上前に借入れした事業用資金の残債の督促通知が、債権回収業者から届いた。現在廃業して返済困難だがどうしたらよいか。

休職したことから、生活費の工面のため信販会社に借り入れをしてしまい多重債務となり返済困難だ。

○個人タクシーの運転手をしているが、事業用資金と生活費のために融資を受けていて、毎月の返済が厳しく債務整理をしたい。

銀行からの借り入れがあり、他にも携帯電話代や保険料の支払いができず滞納している。仕事ができず生活保護申請中で返済困難。

(注)PIO-NET(全国消費生活情報ネットワーク)を通じて全国の消費生活センター等から寄せられた「多重債務」に関する相談事例。